

2024年5月9日

2023年度通期決算説明会 質疑応答

沖電気工業株式会社

Q：EMSの本格的な回復が24年度後半から、という説明があったが、それは半導体関連の受注が回復するという理解で良いか。

A：お客様の状況も踏まえてそう考えております。半導体市況、中国景気が回復する機会にも備え、生産能力を上げる投資をしっかりと実行して参ります。

Q：エンタープライズにおいて、新紙幣発行に伴うATM等のハードウェア更新に関する需要は、今後も暫くは続くのか。

A：2～3年は続くと考えております。ATM以外にも、金融機関の営業店や流通市場の店舗に設置される現金処理機等お金まわりのハードウェアを揃えており、これらの需要は今後も堅調に需要があるとみております。24年度も生産能力いっぱいの操業計画であり、25年度も続くと考えております。

Q：24年度予想について、固定費増加による前年度比60億円の営業利益マイナス要因があるが、この規模の投資はこの先も続いていくのか。

A：昨年に策定を致しました中期経営計画にて織り込んだ投資でございますので、3年間はしっかりと継続したいと考えております。利益と投資のバランスをとることが一番重要だと考えており、1年目はしっかりとできましたので今後も長期的にリターンできることをご説明・お示しして参ります。

Q：長期視点での投資という説明があったが、一方で単年度ベースの業績をコントロールする視点でお考えをお聞きしたい。

A：こちらにも利益とのバランスの問題と考えております。必要以上に度を越えた投資をしていくということではなく、24年度の営業利益160億円についても、人的投資やR&Dなど成長投資にはしっかりとお金をかける計画を立てた上で、利益と投資のバランスを考慮した内容となっております。

(注) 本資料における予想、見通し、計画等は、現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断される一定の前提に基づいております。したがって実際の業績は様々な要因により異なる可能性があります。なお、記載内容につきましては実際のやり取りに即しておりますが、理解しやすいように部分的に編集を加えております。